

資料のちらばりと代表値(解説)

氏名

下の表は、中学生5人のハンドボールの記録である。(1)～(3)の問題に答えなさい。

27	45	32	32	25	(m)
----	----	----	----	----	-----

(1) 上の表の記録の最頻値を求めなさい。一番多くある記録⇒ 32 が2個で一番。最頻値 32

(2) 上の表の記録の平均値を求めなさい。平均値⇒ 5つの記録の和 ÷ 記録の個数(5)

$$(27 + 45 + 32 + 32 + 25) \div 5 = 161 \div 5 = 32$$

(3) 上の表の記録の中央値を求めなさい。

中央値⇒記録を順番に並べたとき、真ん中にある値のこと大きい順・小さい順どちらでもよい。

小さい順に並べると 25 27 32 32 45 よって 32

(4) 下の表は、中学生6人のハンドボール投げの記録である。この6人の記録の中央値を求めなさい。

名前	キミエ	マサユキ	ミサト	ヒロト	サユリ	トモユキ
記録(m)	27	44	33	35	21	39

小さい順に並べると 21 27 33 35 39 44 中央は2つある

偶数個の時、真ん中の2数の平均が中央値、 $(33 + 35) \div 2 = 34$

(5) 下の資料は、体力テストでハンドボール投げを行ったときの9人の記録である。

この9人の記録の中央値を答えなさい。

29	35	28	19	38	28	27	30	27	(m)
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

小さい順に並べる。9個中5番目の値が中央値。

奇数個の時は真ん中は1つしかないの、そのまま答えればしたがって、28

(6) 下の表は、ある学級のハンドボール投げの記録を度数分布表に整理したものです。

度数が最も多い階級の相対度数を求めなさい。

階級(m)	度数(人)
以上 未満	
10 ～ 15	1
15 ～ 20	2
20 ～ 25	11
25 ～ 30	2
30 ～ 35	3
35 ～ 40	1
計	20

度数が最も多い階級は 20 ～ 25

その度数は 11 である。

相対度数はその階級の度数 ÷ 度数の合計で求める。

$$\text{よって、} 11 \div 20 = 0.55$$

解答

(1) 32 m (2) 32.2 m (3) 32 m

(4) 34 m (5) 28 m (6) 0.55